

第3次総合計画第4期基本計画第1回総合計画審議会議事録

日 時：平成28年10月20日（木） 13:30～15:30

場 所：東金市役所3階第1委員会室

出席者：委員…16名

副市長、企画政策部長、企画課長、企画課主幹、企画係長、企画課主査補、企画課主事補、企画課主事補

議題：（1）地方創生関連交付金の効果検証について

（2）「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成27年度における効果検証について

（3）その他

1 開会

（司会 企画課長）

2 新規委員紹介・委嘱状交付

（企画課長より3名の新規委員を紹介し、委嘱状を机上に交付させていただいた旨を説明。）

3 会長あいさつ

[会長] 東金市総合計画審議会2年目第1回の会議となる。今回は昨年9月に策定した総合戦略について経過報告を受ける会議として設定させていただいた。その後の内容等を把握していただき、遺憾なくご意見をいただきたい。

4 副市長あいさつ

[副市長] 「東金市まち・ひと・しごと総合戦略」の策定に対して、多大なるご協力をいただいたことを、この場をお借りし感謝申し上げます。

総合戦略の策定、さらには総合戦略に掲げる事業の推進にあたっては、明確な政策目標の下、客観的な指標の設定やPDCA等の効果検証体制の整備を求める新しいタイプの交付金が設けられている。審議会委員の皆様におかれましては、その効果検証を行う組織として、幅広い分野からご意見・ご提言をいただきたい。

《副市長、退席》

5 事務局紹介

（企画政策課長より当審議会事務局の紹介。）

6 報告

[企画課長] 議題の進行については、東金市総合計画審議会条例第5条第1項の規定により会長に議

長をお願いしたい。

(会長…了解)

[会長] 議題 (1)・(2) について、事務局より一括して説明を求める。

○(1) 地方創生関連交付金事業の効果検証について

(企画係長…始めに、カラー刷りの補足説明資料より、改めて地方創生関係交付金について説明。

議題の1つ目は、地方創生関係交付金のうち、補足説明資料の緑色の部分である「基礎交付」・「上乘せ交付」の2つの交付金を受けて実施した事業の効果検証である。

これらは国の平成26年度補正予算で創設され各市町村に交付されたもので、実際は昨年度平成27年度に繰り越して事業実施したものである。この交付金は、地方版総合戦略の策定費用として交付された。また、地方版総合戦略に位置づけられる見込みのある事業についても、総合戦略の策定に先行して交付された。この交付金は、100%国庫負担であった。

「基礎交付」については、上限額が市町村ごとの人口や財政力指数などを基準に決まっており、東金市の上限額は50,546,000円となっている。

各交付金により実施した事業の細かい内容に入らせていただく。資料1は、左から「活用した交付金」、「事業名」、「経費の概要」、「実績額」、「数値目標に対する実績値を踏まえた検証」となる。

「基礎交付」では、「東金市まち・ひと・しごと総合戦略策定・九十九里地域広域連携検討事業」、「乳幼児用災害時備蓄品整備事業」、「セントラルパーク観光振興事業」、「八鶴湖周辺にぎわい創出事業」の4つの事業を実施した。

「東金市まち・ひと・しごと総合戦略策定・九十九里地域広域連携検討事業」

「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき策定した、東金市版の総合戦略の策定にかかる費用として、9,003,360円の交付を受けた。平成31年度まで毎年度効果検証を行うことが求められており、これは議題2でお願いしているため、議題1では省略させていただく。

「乳幼児用災害時備蓄品整備事業」

子育てしやすい街を構築し、子育て世代の人口の流入を目指すべく、乳幼児の防災備品を準備する費用として、9,621,585円の交付を受けた。「市民アンケートにおける防災分野及び子育て支援の満足度向上」というKPI(重要業績評価指標)を設定したところ、両分野における目標値をいずれもクリアできた。このことから、子育てのしやすい街という目的に向けて確実な進捗を図ることができたと考えている。

「セントラルパーク観光振興事業」

中心市街地の活性化と少子化対策を合わせて実施するという観点から、鶉ヶ嶺の森公園とその周辺資源を活用し観光施設として整備することで、市民の憩いの場としてばかりでなく、幅広い観光客の誘致を行うとともに、保育資源である公園の環境改善を目的とした事業である。この費用として、10,120,760円の交付を受けた。「市民アンケートにおける都市公園分野の満足度向上」というKPIを設定したところ、クリアすることができた。このことから、目的に向けて確実な進捗や一定の成果があったものと考えている。

「八鶴湖周辺にぎわい創出事業」

交流人口の増加を目的として、東金市の代表的な観光スポットである八鶴湖を中心とする地域の観光資源の充実を図るため、商店街の活性化などの一連の事業を行うための費用である。

この事業については、東金市の上限額のうち、これまで説明した3つの事業にかかった金額の残りの金額を当てた。そのため、全体の事業費としては約5000万円かかっているが、そのうちの21、

800, 295円を当てたという表記とした。

この事業に対して、「年間観光客入込数80万人」、「市民アンケートにおける観光分野の満足度向上」という2つのKPIを設定した。特に客観的な指標である「観光客入込数」が、前年度の72万人から大きく上昇が見られたことから、この事業は他の施策にもプラスの影響を与え、非常に大きな効果があったと考えている。

いま一度カラー刷りの補足説明資料にお戻りいただきたい。

この観光客という交流人口の増加は、地方創生の鍵となるものであると考えており、今後も八鶴湖を中心とした観光資源の整備について、積極的に検討していきたいと考えている。

昨年度は、隣接する九十九里町と連携し、平成27年度補正予算で創設された「地方創生加速化交付金」を申請した。資料オレンジ色で囲った部分である。内容としては、東金市は八鶴湖、九十九里町はビーチタワーという観光資源をそれぞれ整備し、両市町の観光などの情報を掲載した情報誌を作成しようとするものである。実際には平成28年度に実施するものであり、現在、先日プロポーサル方式において選定した業者とともに作成を行っているところである。年度末までに完成させた上で、配布などのプロモーションに取り掛かろうと考えている次第である。

資料1に戻っていただき、続いて「上乘せ交付」である。これは「地方版総合戦略に記載のある事業の中で、内容の優れた事業」に対して交付されたものである。他団体の参考となる先駆性を有する事業を実施する場合に受けられる「タイプⅠ」と、平成27年10月末までに総合戦略を策定することを条件に、そこに記載予定の事業に対してあらかじめ受けられる「タイプⅡ」とがあった。

タイプⅠ「ワークライフバランス推進事業」

子育てしやすい街を目的として、市内企業等に働き方を見直してもらうべく、専門家の指導の元、コンサルタントを育成しようとしたものである。実績額は839万円であった。

この事業に対し、「コンサルタント数10人」というKPIを設定したが、2人に留まってしまった。しかし、市内企業においてコンサルタントが誕生したことはひとつ大きな前進であると考えており、今後はそのコンサルタントが在籍する企業においてその者を核として、働き方の見直しができるよう行政としてバックアップしていく。

タイプⅡ「移住定住ホームページ等運営事業」

隣接する九十九里町と連携し、専用のホームページを立ち上げるとともに、そのホームページに投稿するプロモーション動画を作成したものである。実績額は3,499,200円であった。

この事業に対して、「ホームページアクセス件数」と「年間転入者数」という2つのKPIを設定したところ、特に「アクセス数」について目標値を大きく下回る結果となった。今後はアクセス数を伸ばすべく、他の媒体を利用し当該ホームページに誘導させる仕組みを検討する必要がある。）

○(2) 「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成27年度における効果検証について

(企画係長…資料2より、総合戦略全体について効果検証をお願いする。東金市版人口ビジョン及び総合戦略の概要版としてカラー刷りのA3資料を参考としてお手元に配布した。

昨年度策定した「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少問題を克服するため、「げんきづくり」、「みらいづくり」、「まちづくり」、「しごとづくり」、「きづなづくり」という5つの基本目標を設定している。各目標を達成するために、それぞれの目標に対して、戦略期間最終年度である平成31年度における数値目標を設定していることから、平成27年度の効果検証を行うにあたっては、5つの目標について個々に検証を行っていく。今後力を入れていくポイントなどについて委員各位から意見をいただきたい。

(1) 基本目標1 げんきづくり for ENERGIES

「人口の社会増」から始まる4つの数値目標をかかげており、それを達成するために3つの施策を挙げている。その施策の進捗を図るための数値目標を設定しているという作りになっている。

「げんきづくり」については、初年度から優先して取り組んできたこともあり、4つの目標のうち、「20代転出者数の縮減」が基準年より悪化したものの、その他3つの数値目標については、基準年と比べ目標値に近づいているという結果となった。これを受け、p2に検証結果を記載した。

「観光入込数の増加」、「商業・サービス施策に関する市民満足度の向上」が特に高い数値を示していることから、この八鶴湖に代表される観光資源を整備したことによる効果は大きなものであったと考えている。今後もこの方向性を踏襲していくことが望ましいと考える。

しかし、個別の施策及び数値目標では、特に「若者を中心とした活気がある街だと思える市民割合」や「観光PRが盛んだと感じる市民割合」、「移住定住ホームページへのアクセス件数」において低い数値を示していることから、整備後のPR・情報発信が今後の検討課題となる。

(2) 基本目標2 みらいづくり for NEXT GENERATION

「合計特殊出生率の向上」から始まる、4つの数値目標をかかげており、それを達成するための4つの施策を挙げている。実績値及び検証結果はp4～5に記載のとおり。地方創生の「先行型交付金」を活用し2つの事業に取り組んだところではあるが、実績値が基準値を下回っている項目が見られることから、未だ進捗状況が不十分な分野である。

その一方で、後ほど「きずなづくり」の分野でもふれるが、東千葉メディカルセンターにおいて、平成28年度に分娩対応可能な産婦人科の開設が実現できたことから、p5にある「出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目のない施策」を実施するための環境が整ったと考えている。今後はまず入り口である“出会い”にするようなイベントを仕掛けていきたいと考えている。

(3) 基本目標3 まちづくり for COMFORTABLE CITY

「都市基盤施策に関する市民満足度の向上」という数値目標を掲げており、それを達成するための4つの施策を挙げている。実績値及び検証結果については、p6～7に記載のとおりである。

昨年度は、主に「げんきづくり」の観点から実施したソフト面での取り組みにとどまってしまったことから、同じく進捗が不十分であった分野ではないかと考えている。

今年度については、ハード面での整備を視野に入れた取り組みとして、新築住宅を取得したものに對する補助制度を創設したところである。

(4) 基本目標4 しごとづくり for JOB CREATION

「市内事業所数の増加」から始まる、3つの数値目標を掲げており、それを達成するための4つの施策を挙げている。実績値及び検証結果については、p8～9に記載のとおりである。

数値がほぼ横ばいで推移してしまったことから明らかであるとおおり、検討するに留まってしまったものが多く、あまり進捗が図られていない分野である。今後については、基幹産業である農業について、国交付金を活用しながら高付加価値化を実現していきたい。

(5) 基本目標5 きずなづくり for FRIENDSHIP

「地域連携意が進んでいると感じる市民割合」を数値目標に掲げており、それを達成するための2つの施策を挙げている。実績値及び検証結果については、p10～11記載のとおりである。

九十九里町との連携により、移住定住情報に特化したホームページを立ち上げるとともに、観光情報も加えた情報誌を作成するべく、「地方創生加速化交付金」を共同で申請し、平成27年度末に採択されたところである。今年度末までの作成を目指し、業者と協力し作成しているところである。

しかしながら、「地域間連携が進んでいると感じる市民割合」や「移住定住ホームページへのアクセ

ス件数」が目標値を大きく下回ったことから、こうした連携施策のPR不足が明らかになった。今年度については、SNS等を活用したPR方法を取り入れていきたいと考えている。

また、ここ数年来、市内に分娩対応が可能な産婦人科がなく、東千葉メディカルセンター内に産婦人科を開設できたことは、大きな一歩ではないかと考えている。）

[会長] 議題ごとに質問を受ける。その後、両方を総合して再度委員の皆様にご意見を伺いたい。

(意見・質問)

○(1) 地方創生関連交付金事業の効果検証について

[委員] 「上乘せ」のタイプⅠとタイプⅡの事業について、予算額はそれぞれいくらか。また、タイプⅡの事業は、「年間転入者数」が2,610人とあるが、「転出」は何人か。城西国際大学では自動的に若者の出入りがあるが、数字はどのようにとっているのか。

[企画係長] 「上乘せ」の予算額については、タイプⅠは実績額と同額、タイプⅡは350万円である。「年間転入者数」は、城西国際大学の転入・転出も加味した数字である。「転出者数」については、確認でき次第、お答えする。

[委員] 「上乘せ」のタイプⅡの事業について、城西国際大学の数字は定住とは関係ない。この数字については囲い等で表記しなければ、実態が見なくなる恐れがあり注意が必要。

[会長] 「基礎交付」の「八鶴湖周辺にぎわい創出事業」について、事業規模50,220,000円のうち、21,800,295円を交付金で当てているが、残りのお金はどこから出ているのか。

[企画係長] 残額については、市の一般財源から支出した。

[会長] 元々予算化してあったということか。

[企画係長] そのとおり。

[会長] 元々5000万円を予算化してあり、そのうちの2000万円が国から交付されたのだとすると、余った3000万円はどこかに流用されたということか。

[企画係長] 交付された5000万円を、優先順位を付けて上から順当していったところ、「八鶴湖周辺にぎわい創出事業」に充当できた分が21,800,295円ということである。

○(2) 「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成27年度における効果検証について

[委員] 基本目標1の施策2について。観光協会では観光PRというものは基本的には市外でやっており、一般的に市内ではやらない。「観光PRが盛んだと感じる市民割合」が20.1%、目標値が60%とあるが、どのように数値をとっているのか。

[企画係長] 戦略の実績推移全般に共通することだが、「市民満足度の向上」という項目については、毎年度実施している市民アンケートの結果をもって実績値としている。

[会長] 市外でPRしているのだから、市民の満足度より確実にPRできたかの方が大事なのではないか。また、「観光PRが盛んだと感じる市民割合」の実績値が20%と低い数値だったということは、市の情報還元の仕事が悪かったということ。この指標の捕らえ方を確認願いたい。

[委員] 基本目標1施策1「大学等と連携した新たなイベントの開催数」や「参加者数」は、どのようにカウントしたのか。私どもが実施している「美しい村」の活動では、学生が50人弱は来ている。

[企画係長] 指標のカウント方法は、市が主催して実施したイベントの回数であり、ご指摘のイベントについてはカウントされていない状況である。

また、先程ご質問があった「年間転出者」については、全体の転出者数は2,744名であった。

[会長] 議題1について、資料1「上乘せ」タイプⅡについては、転出者数2,744名とのこと。

また、資料2の「大学等と連携した新たなイベントの開催数」では、市が実施したイベントが0回ということだが、ここには「市民と大学等教育機関が連携し」とあり、市が実施したものとは書いていない。これも、指標の捕らえ方としては不適切である。

[委員] 基本目標1の施策1「大学等と連携した新たなイベントの開催数」や「参加者数」について、市民が中心として企画・実施したものはカウントされていないということだが、市民ファーストであるならカウントしていただきたい。

[企画係長] ご指摘いただいた点を活かし、カウントの仕方を見直していきたい。

[委員] 基本目標1の施策2「移住定住ホームページへのアクセス件数」の実績は目標を大きく下回っているが、この原因はなにか。また、「体験農園開設数」について、これはどのような事業なのか。

[企画係長] 「アクセス件数」については、検索でワードを入れてもなかなか上位にでてこない状況である。それに伴い、アクセス件数が伸びなかったのではないかと考えている。今年度は、SEO対策として、市内の知識のあるものとも協力し、まずは検索時に上位に出てくるよう工夫をしていきたい。

「体験農園」については、農政課で実施している「田んぼの学校」をカウントしている。農家ではない方が農家の方の指導の下、農作業を体験するというものである。

[議員] 「アクセス数」については、さらに努力をしていただきたい。市役所の職員が500名、また臨時職員のなかには、得意な方がいると思う。その方に任せたいほうがよい。専門性の問題である。

また、「体験型農園」については、「田んぼの学校」の5箇所は具体的には何があるのか。

[主幹] 「田んぼの学校」の松之郷の土肥さん、滝沢の今井さんの2件、源地区等で実施している「市民農園」が3件、合計5件が現状である。5年後までにもう2件増やすことを目標としている。

○ 議題全般について

[会長] 全般について意見を、委員一人ひとりから伺いたい。

[委員] 「東金市総合戦略」の目玉は、九十九里町地域の広域連携であると思う。ホームページのSEO対策については、予算があるのであれば専門の業者に委託した方がよいのではないかと。

また、限られた5年間で結果を出していくのであれば、東金市と九十九里町の今後の方針をもう一度見える形で示していただきたい。

[委員] みのりの郷の都内からの観光客の中には、「体験農園」について興味のある方が非常に多い。この分野をもっとPRすれば、観光客を増やせるのではないかと。また、農業体験の写真を色々なところにアップすることも、非常に効果があるのではないかと。

[委員] 「大学と連携したイベント」や「観光PR」の数値は、「市が主体で実施したもの」に特化されているように感じる。役所の各部署の方が市民と連携して実施したものが反映されるとよいのでは。

また、「体験農園」の実績値の中に、どのくらい市外の方が含まれているのかが知りたい。

[委員] 観光の目標の中に自然に関する項目も謳った方がよいのではないかと。東金市には、ごく普通の里山の風景など、まだ残された自然がある。自然が美しいか、自然を守ろうとしている街かどうかということも評価の基準の1つになるのではないかと。

また、ミズヒマワリやオオキンケイギクなどの特定外来種について、市を挙げての行事を実施するなど、市を挙げて前向きに取り組んでいるという姿勢を見せていただきたい。

[委員] 「田んぼの学校」について、農業による定住型を考えた場合、体験して農業自体が楽しいと思えるようなものを実施したほうがよいのではないかと。

また、「新規就農」について、市の補助や相談窓口がもう少しあるとよいのではないかと。新規就農者

は増えているが、実際は、経営がうまくいかず辞めてしまったり、八街や大網に住んで東金には畑を借りてただ耕作しに来ていたり、東金市へ定住するのは難しいという話も聞いている。東金市の人口への影響という観点では、「体験農園」を5つに増やしたことで東金の人口が増えるというのは甘い。

また、基本目標4の施策1の数値目標「地域産業資源の活用による商品等の創出件数」の実績値「1」は、何を指すのか。

[主幹] 「地域産業資源の活用による商品等の創出件数」については、黒大豆の味噌鍋に取り組んでおり、これを地元の産品という扱いとしている。

[委員] 黒大豆は、下谷・上谷においてオーナー制で丹波黒を作ったが、不作でつくる農家が少ない現状である。市では鍋フェスタに参加しているが、実態のない黒豆ばかりPRするのはいかがなものか。

[委員] 人口創生ではワークライフバランスという言葉がよく出てくるが、これは人口を増やすうえで、ひとつのキーワードであると考え。他の地域ではワークライフバランスはかなり重点的に取り上げられている。コンサルタント目標値10人のところ2人だったということだが、ぜひ10人といわず、20人と増やして欲しい。

[委員] 観光事業の蓮の棧橋について、棧橋と八鶴亭蓮を併せて、テレビ等の誘致ができればいいのではないか。最近NHKのテレビドラマの中で八鶴亭が使われたが、周囲からの大きな反響があった。

[委員] 東京オリパラ事前キャンプ誘致事業に関して、現在県と連携し誘致部会を立ち上げているとのことだが、今現在どのような進捗状況で、こういった形で外部から東金市に連絡があるのか。

また、これが実現してトップアスリートが東金市に来たときには、ぜひウェルカムセレモニーのようなかたちで、子供たちが参加できるイベント等を企画していただくとありがたい。

[企画政策部長] オリンピックについて、誘致活動をしているところではあるが、国名等は決まるまでは公にしないというのが市内の方針である。しかし、オランダに関しては千葉県内でキャンプ先が決まり、当市には来る可能性は低いと考えている。また、県のからの視察も予定されており、近々あるのではという国が1つある。姉妹都市のマルメゾン市への働きかけもしているという状況である。

[委員] 東千葉メディカルセンターで出産ができるようになり、今までどのくらい生まれているのか。

また、待機児童が現在6人ということだが潜在的にはもっと多い。子ども園にも力を入れてほしい。婚活事業について具体的な事業案が出次第、概要等を順次広報等をしていただければありがたい。

また、ワークライフバランスについて、コンサルタントの役割は仕事と生活のバランスのとり方を教えるということではどうか。新規就農等で新しくやる気をもって東金市に来た方に対して、経営が圧迫される前に、農業に特化したアドバイザーやコンサルタントを活用した勉強会等のサポートがあれば定着にもつながるのでは。「移住定住ホームページ」に同様の案内やリンクをどんどん出してほしい。

また、ホームページのアクセス数について、SEOも大切だが、リンクを張ってもらうことや告知、口コミで見ってもらうということが大事なのでは。また、「とっちー」が毎日つぶやいたり、Facebook等で面白い動画をあげたりなど、ホームページを立ち上げて放置するのではなく、市の詳しい担当の方や面白い企画ができる方が、毎日少しずつ更新していけば、人気ができるのではないかと。

ワークライフバランス事業では、840万円の予算に対しコンサルタント2人なので、1人あたり400万円、参加者延べ約110人なので参加1人あたり1回で80万近い予算が使われている。こういうものなのか。市の子供会では予算が少なくイベント開催が難しい状況である。ジュニアリーダー等、これから担ってくれるような中学生の子ども達の育成などにも予算が回るとありがたい。

[委員] 観光協会としては、八鶴湖の浚渫、棧橋と整備していただき、交流人口の増加で結果を出さないといけないと責任も感じている。こうした施設を利用した収入型のイベント等を組んでいきたいと考えている。今後としては、遊歩道は雨が降ると歩きづらいうことや人が増えたときのトイレの整備

などの課題があるので、その整備をお願いしたい。

[委員] 「八鶴湖周辺にぎわい創出事業」について、全体計画の進捗状況はどうなっているのか。事業は平成28年度で終わりなのか。

[企画係長] 「基礎交付」を活用した事業としては終了した。しかし、この「八鶴湖周辺にぎわい創出事業」は一連の事業の総称であり、続いて、栈橋を整備したうえで、観光情報誌を作りPRをしていく。また、八鶴湖周辺に新たに手を加ようという動きもある。そういった意味では進捗中である。

[委員] 交付金の事業そのものは今年度で終わり、それ以降は市の単独予算で実施するというのか。

[企画係長] 情報誌については、カラー刷りの補足説明資料のオレンジ色の部分「加速化交付金」を活用し取り組むものである。また、今検討しているものとしては、同資料の黄色部分の交付金が新たに創設されたため、申請し認められれば、それを使い、新たな展開をしていこうと考えている。

[委員] 「体験農園」について、農業委員会では、「耕作休耕地」いう土地が多くある。それを整備して「体験農園」などに提供することも、話がくれば検討したいと考えている。

[委員] 基本目標3「まちづくり」の施策4「UIターンによる移住者数」では、その自治体施策で「転入希望者への支援策の充実」に「定住する意思を持って新築住宅を取得したのに対し補助制度」がある。私の自宅付近にはIターンの方が10人くらいいるが、全員アパートに住んでいる。そういう方にも補助が適用されるようになれば、もう少し人が増える可能性がでてくるのではないのか。

また、基本目標4「しごとづくり」施策1の「地域産業資源の活用による新たな商品等の創出件数」も、市創出の1件のみでなく、民間で実施している活動等も把握して、別枠等で示していただきたい。

[委員] 同じく基本目標3の施策1「高速バス」の本数について、目標値として平成31年度に90本という数字を挙げているが、現状のところバスターミナルの整備などの考えをもっているのか。

また、施策2「みのりの郷東金の来場者数」について、50万人という目標値を立てているが、駐車場等を考えると本当にそこまでいくのか。目標を設定した理由をお聞きしたい。

「ワークライフバランス」については、商工会議所に委託しているわけだが、他の委員の方は市役所の職員がやっていると考えている。800万円も使い、委託後、議員に報告がないのはどうなのか。

[企画課長] バスターミナルの件については、いつまでに、どこにという具体的なプランがあるわけではないが、市の公共交通計画でバスターミナルを作っていくことを謳っており、そういう頭があるということで考えていただきたい。

[企画主幹] みのりの郷について、「来場者数」の目標値50万人に対し駐車場等が不足するのではないかということだが、現状、大きなイベントの際の混雑時には、周囲のパチンコ店の駐車場を借りられるという話になっている。駐車場とか受け入れる側としては、まだ余力があると見てよろしいか。

[委員] 土日に関しては、現状厳しい状況である。

[会長] 「道の駅」になってから大幅に入れ込みが増えたと聞いている。平成27年度よりも増えているのではないのか。

[企画主幹] 去年の11月「道の駅」の指定から、増えているということは聞いており、現状では30万は超えているのではないかと考えている。駐車場に関しては、農政課から新たな投資が難しい状況であると聞いており、目標値に向けての検討等が必要と考えている。

[委員] 定住移住のホームページの作成について、350万円かけて委託しているのであれば、よりアクセス件数が増えるよう業者に改良を求めるべきではないか。これだけの金額が市の一般財源からの支出であれば、その効果や重要性をより慎重に検証すると思う。最初に交付金ありきではなく、これならどうしてもやりたいという内容が必要だと思う。

[委員] 総合計画審議会委員一覧を見ると、それぞれ選ばれた団体の皆様方、すばらしいご意見参考

にさせていただいた。人が集まる東金のまちづくりということで、市議会からは委員として4名が参画することになっている。今後会長を支え、市議会としても十分勉強して参画して参りたいと思っている。今後ともよろしく。

[会長] 総合戦略自体は、人口減少を食い止め、あわよくば増やそうというものである。出生率の改善、移住定住や子育て支援などが事業の中心になるべき。それに直結するような事業を優先していただきたい。東千葉メディカルセンターの産科については、周辺の他の自治体との差別化を図ること。

こども園については、現在保育所と幼稚園との需要と供給がアンバランスな状況にあり、その解消に向けこども園化を含めて様々な検討が必要な時期であると思う。速やかに進めていただきたい。

移住定住ホームページについて、単なる呼び込みのPRだけではなく、他の委員から出ていた就農支援や婚活情報を載せるなど、より多角的な活用を考えていただきたい。

東金市の強み弱みを分析するマネジメント手法としてSWOT分析というものがある。東金市の強みや弱みが明らかになり、どこに力を入れるべきかなど自ずと優先すべき事業が見えてくる。もしやっていないのであればすぐにでもやってほしい。既にやられているのであれば、各部署で東金市の強みを活かす事業を優先的に実施してほしい。

○[会長] 委員からの質問に対する答弁を事務局に求める。

[企画係長] 「体験農園」等の市外から来る人数は、「田んぼの学校」と「市民農園」合わせ、組数では31組、人数では64名であった。

東千葉メディカルセンターの産科について、当時想定として年度初めから外来や分娩が始まったとしても、途中で病院を変えられる方というのはいらっしゃらないのではと考えていた。4月に始めて妊娠が判明されて来られた方が出産されるのが、まさにこの10月11月くらいではと思っている。細かい数字を仕入れてはないが、ほぼ想定どおりに動いているのではないかと考えている。

産科については、これまで非常勤の先生がお一方でやっていらしたため、誘致に当たっては最低でも2人を目標にしていたが、最終的にはお医者様3名と非常勤とで24時間365日対応できる体制がおそらく整うのではないかと考えている。加えてメディカルセンターでは23時まで対応可能な小児科もあり、トータルで子育てしやすい街を目指している。これをうまくPRし移住定住につなげたい。

[委員] 小児科が23時まで対応可能というのは初耳だったが、これは広報等に載っているのか。

[企画係長] 診療時間は広報に載せているのみだと思う。これもPRがあまり進んでいない部分である。

[委員] メディカルセンターは、行っても門前払い、救急車しか受け付けないといった印象が強い。

[企画係長] 小児科については常時開けているわけではなく、対応する体制が整っているという意味。

[委員] 体制が整っているということでも、お子さんのいる方には心強いと思う。

[企画係長] 婚活の具体例については、担当としては、市内の方同士で婚活・結婚をしたとしても人口自体はすぐに増えるわけではないため、外から都会の女性を呼び、市内の男性と婚活パーティなどをし結婚していたければと考えている。了承が得られればこうしたことも実施してみたい。

[会長] 委員の皆様から色々ご意見ご質問等あると思いますが、そろそろ時間ですので、何かございましたら、別紙「意見提案書」にて事務局までお願いしたい。これで議事を閉じさせていただく。

議事の終了

○(3) その他

[会長] 最後に「その他」について、事務局から説明をお願いしたい。

[企画係長] カラー刷り A3 の補足説明資料より、現在進行中の事業についてご報告させていただく。

東金市の新たな地方創生の取り組みとして、今年度当初国で創設された「地方創生推進交付金」を活用した事業を考えている。資料の黄色で囲った部分である。

この推進交付金はこれまでの他 3 つの交付金の 100% 補助とは異なり、対象となる事業の 1/2 補助となる。この交付金の申請は 6 月と 9 月の 2 回あり、東金市ではこの第 2 回目である 9 月に、「インターネットメディア局整備事業」という 1 つの事業を申請している。

この事業は、広い意味で東金駅西口全体に賑わいを取り戻そうとする事業の一部分を成すものである。これまでの交付金を使って整備した八鶴湖等への観光客が、ただ八鶴湖に来て帰ってしまうのではなく、より広く市内を回り、東金市を気に入って、将来移り住んでいただくことを目的としている。具体的には、スマートフォンやタブレットなどにリアルタイムで映像などを流せる設備である「インターネットメディア局」を整備して、広く開放し市民の皆さんと一緒に、東金の魅力を発信していこうとするものである。

事業期間は今年度を含む 3 年間で予定しており、事業費総額トータルで約 7000 万円を申請しているところである。この中には委員ご指摘の SEO 対策の費用も入れており、これが採択された際には、移住定住ホームページの前進になるのではと考えている。9 月 26 日付で内閣府に申請を行ったところであり、今後内閣府の審査を経て、11 月上旬に結果が発表される予定である。

◆課長あいさつ

[企画課長] 委員の皆様には、長い間ご審議いただいた。これをもって、東金市総合計画審議会を閉会させていただく。次回開催につきましては、平成 28 年度数値が確定してからといたしたいので、年度明け以降の開催を予定している。

7 閉会

以上